

# 第1回 実践方言研究会

日時: 2017年11月11日(土) 10:00~12:00

会場: 金沢大学角間キャンパス 人間社会第2講義棟  
2階207講義室

- ▼位置: 日本語学会の会場案内図参照。午後の口頭発表の会場(人間社会第1講義棟)の隣の建物。 [https://www.jpling.gr.jp/wp-content/uploads/2017/09/185\\_会場案内図.pdf](https://www.jpling.gr.jp/wp-content/uploads/2017/09/185_会場案内図.pdf)
- ▼交通: 金沢駅兼六園口(東口) ⑥番乗場から北陸鉄道バス「金沢大学(角間)」行(93, 94, 97)で終点「金沢大学」まで約35分, 徒歩3分

## 方言調査を介した被災地支援

— 避難指示解除地域における取り組み —

半沢 康(福島大学)・本多真史(奥羽大学)

## 災害時を想定した実践方言研究の試み

村上敬一(徳島大学)

2012年から続けてきた東日本大震災に関わる「文化庁委託事業研究報告会」を発展させ、今回新たに「実践方言研究会」を立ち上げました。方言によるコミュニケーション上の障害や効果、地域社会の活性化への寄与、そして、次世代への継承と教育といった方言学の実践的な課題を扱います。毎回、研究発表や活動報告を行うことで、この分野の情報・意見交換の場としたいと考えます。みなさま振るってご参加ください。

幹事: 今村かほる、大野眞男、小林隆、半沢康、杉本妙子、新井小枝子

今回の問い合わせ先: 東北大学方言研究センター

電話: 022-795-5987 Eメール: kobataka@m.tohoku.ac.jp